

「福祉は権利」を大きな声に

憲法25条に規定された生存権を否定し、社会保障削減を続ける政治の流れに反対し、「福祉は権利」を実現するためとられた今回の「福祉は権利」共同シンポジウム。障害・高齢・保育という種別だけでなく、労使・利用者といった枠をこえ、「福祉は権利」を合言葉にみんなで一歩前に踏み出すための、大きなきっかけとなりました。

シンポジスト



家平 悟さん 障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会（障全協）
 正森克也さん 社会福祉法人こばと会／社会福祉施設経営者同友会
 阿部一美さん さいたま市保育園保護者／赤ちゃんの急死を考える会
 清水俊朗さん 全国福祉保育労働組合副中央執行委員長

「福祉は権利」利用者・経営者・労働者が共同シンポジウム
 種別や労使・利用者の枠をこえて一歩前へ 6月8日 東京・星陵会館

基調報告 石倉康次さん（立命館大学教授）

社会保障に予算を使わせよう

大企業の税のそれを許さず、軍事費や原発に国の財源を使わせよう



基調報告では、「福祉は権利」を明確に示した「朝日訴訟」（1995年提訴）の意義が再確認されました。当時、自衛隊創設のための予算が膨れ、社会保障費用が削減される状況の中で「予算によって、最低基準（国民の権利）が左右されてはならない」という判決が出されましたが、今も守られていません。「持続可能な社会保障制度」として、社会保障そのものが引き下げられ、必要な費用は消費税を中心に確保しようとしています。一方で大企業の負担を軽減し、社会保障を支える国民の雇用が守られていません。石倉さんは、国民に分配・再生産されない軍事費や莫大な費用のかかる原発ではなく、社会保障に予算を使わせよう、と強く訴えました。

福祉の現場の実態と権利保障への思い

セッション1



石倉さんからの問題提起を受け、パネラーから報告がありました。正森さん「介護保険改悪（予防給付の廃止）の口

国の社会保障政策の後退が福祉の現場を圧迫し続けている

阿部さん 行政の目が行き届かない施設が増え、子どもの安全が守られるか。保育士の働く環境が子どもに直結する。家平さん これからの社会保障制度は、家族相互国民相互の助け合いとされる。事業者・家族・みんななど連携していかないと公的福祉がなくなる。清水さん 人材不足を理由に専門性を否定する動きが強まっている。守るべき福祉とは何かという一致感で共同した運動をすすめていこう。

セッション2

公的責任と個人の社会的責任を追求する

福祉に関わるすべての人と福祉労働者の共同の力が求められている

権利が守られていない実態が報告された後、今後の責任を果たさせるためにどう追求していくかが報告されました。正森さん 財界は福祉を必要とする人への対応を考えていない。社会福祉法人が、公的福祉を追求する事業体として権利を保障する事業を行っていくことが重要。

安否情報は、集団的自衛権行使の条件として国民の生命、自由及び幸福追求の権利が覆されるような事態をあげました。この生命、自由及び幸福追求

の権利」という言葉は、もとも日本国憲法第13条の言葉です。「生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利」は「立法その他の国政の上で、最大の尊

を含むある優すべからざる権利が与えられており、その権利を確保は政府という機関をもつこと述べています。人間にとってもっとも

政府が勝手に戦争をはじめ、国民の生命を奪うことほど大きな専制はありませぬ。福祉を圧迫し、自由で幸福な生活を脅かすことは、政府の存在理由を

「幸福追求権」と反する「集団的自衛権」

福祉のなかま 今月の主張

重を必要とする」というのがその主旨です。この言葉は1976年の「アメリカ独立宣言」から継承されたものです。「独立宣言」は「人間には、生命、自由として幸福の追求

大切なものは生命であり、しかも自由で幸福な、つまり福祉を保障された生命です。そのような生命（生活、生存）を保障するためにこそ「政府」がつくられたのです。

戦争は、人々の暮らしを支える生産力（田畑や工場、交通など）を破壊し、家族を養って

「予算で保障の内容を変える」という考えがまさに現場を見ていない人の考えだと思いが悲しかった。すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活をする権利があるはずなのに…。社会的弱者に厳しい世の中になりつつあることに、大きな声をあげていかなければならないと思った。おさんを亡くされた阿部さんの話が印象的だった。保育・障害・介護、どの分野においても国の保障は充分でないし、非常に厳しい現状にあると感じた。

参加者の感想

今年度から実施されている制度改悪がたくさんあること、そしてこれからまだまだ、さまざまな制度改悪が進められていることを知り、この流れをどのように止めるべきか考えさせられました。ついていけないスピードで制度が改悪されていくこと、知らない人は知らないままで社会の価値がかわっていくことに危機感を感じました。「気づいた人」は伝えていく役目があると聞き、やはり伝えていく・広めていくことは重要だと思いました。

（東海地本 田代分会）

（東京地本 井の頭保育園分会）

「みんなの歩」

「みんなの歩キャンペーン」

賛同金にご協力を！

目標 1000万円

運動の理解を広げ、大きく展開していくための必要経費として協力（団体1口3000円、年間1000口以上目標）をお願いします。

郵便振替口座 00110-1-45713 全国福祉保育労働組合

（「みんなの歩賛同金」と明記してください）

教える「福志郎先生」77

～職場「法令違反度」チェック～編

「非正規の均等待遇もチェック」の巻

労働契約法違反とは…

雇用期間・勤務時間・給与…

非正規に均等待遇を！

10 非正規職員と正規職員の賃金・手当・休暇の格差が大きい。

42 非正規職員は、非正規だと…

1 労働者としての権利を！

2 労働者としての権利を！

3 労働者としての権利を！

4 労働者としての権利を！

5 労働者としての権利を！

6 労働者としての権利を！

7 労働者としての権利を！

8 労働者としての権利を！

9 労働者としての権利を！

10 労働者としての権利を！

あゆみ保育園分会が結成

1人また1人と声をかけて—島根支部

「益子の陶器市」で心ゆたかに

栃木支部

毎年春の大型連休に開催される「益子の陶器市」に家族と行くのを楽しみにしています。陶器市の魅力は①陶器が安く買える②期間中益子の町の各地にテント村ができて作家さんと作品について直接話せる③テント村にカフェなど食事にご一緒しているお店がある

おいしいものが食べられること。おいしいものを食べながら陶器を見て気に入ったものがあれば購入します。お気に入りの陶器に囲まれた生活はゆたかになります。ぜひ、益子に来てお気に入りの陶器に出会ってください。

個人加入した組合員が1人、また1人と声をかけ、6年がたちました。仲間が3人増えたことで、5月末に分会結成しました。今は、喜びと誇りを胸に、仲間とより良い保育のために、賃金・労働条件改善や福祉制度充実をめざし奮闘中です。

分会結成の際に全国のみなさんから数多くのお祝いメッセージをいただき、ありがとうございます。全て拝読させていただきました心強さに満ち、日々の活力となっています。今後ともご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

なつわか。 in 兵庫

全国の若年とつながろう！

8月9日（土）～10日（日）神戸市勤労会館

1日目：講演
「ほっこり気分ってどんとき？」～ゆたかなココロのメンタルヘルス～
大槻 久美子さん（産業カウンセラー）

2日目：グループワーク
みんなが主役！青年部企画をつくろう！

申込みしめきり 7月25日（金）

問い合わせは中央本部まで
TEL 03 (5687) 2901

福祉保育労 ニュースフラッシュ

貧困と福祉について討論

社協・事業団交流会

全国の仲間が福祉充実を訴える

6・9中央行動

6月28日、29日に横浜市で社協・事業団種別の学習交流会を開催しました。「貧困問題と地域福祉」をテーマに、NPO法人ほっとプラス代表理事の藤田孝典さんの講演と、分散会「身近な貧困といま私たちが取り組むべきこと」で討論しました。

6月9日に中央行動を行い、全国から約140人が参加しました。各種別の厚労省との2015年度予算要求交渉を中心に、昼には国会前要求行動もを行い、「福祉の商品化反対」「実効ある福祉人材確保対策を」と訴えました。